



ユーザーガイド

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新のユーザー ガイドについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

初版：2017 年 8 月

製品番号：940345-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

-
- ⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - ⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 - 📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	2
特長	2
背面の各部	3
フロントパネルの各部	4
モニターの設置	5
モニター スタンドの取り付け（一部のモデルのみ）	5
ケーブルの接続	6
モニターの調整（一部のモデルのみ）	9
モニターの電源投入	12
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー	13
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	13
モニターの取り付け	14
モニター スタンドの取り外し	14
VESA 準拠のマウントキットの取り付け	15
2 モニターの使用	16
ソフトウェアおよびユーティリティ	16
情報ファイル	16
Image Color Matching ファイル	16
INF および ICM ファイルのインストール	16
オプティカル ディスクからのインストール（一部の地域で利用可能）	16
Web サイトからのダウンロード	17
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用	17
機能ボタンの割り当て	18
自動スリープモードの使用	18
低ブルー ライト モードの調整	19
3 サポートおよびトラブルシューティング	20
一般的なトラブルの解決方法	20
自動調整機能の使用（アナログ入力）	21
画質の最適化（アナログ入力）	22
ボタンのロックアウト	23

HP のサポート窓口へのお問い合わせ	23
お問い合わせになる前に	23
シリアル番号と製品番号の位置	24
4 モニターの保守	25
保守に関するガイドライン	25
モニターの清掃	25
モニターの運搬	26
付録 A 技術仕様	27
27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル	27
プリセットディスプレイ解像度	28
27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル	28
ユーザー モードの使用	29
省電力機能	29
付録 B ユーザー サポート	30
サポートされている支援技術	30
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	30

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

外部電源アダプターおよびコードがモニターに付属している場合があります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについては、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスクまたはドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 電源コードに3ピンのアタッチメントプラグがある場合は、コードを3ピンのアース（接地）された電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📄 重要：モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのHP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ **警告！**化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。

📖 **注記：**この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。


製品の特長および各部

特長

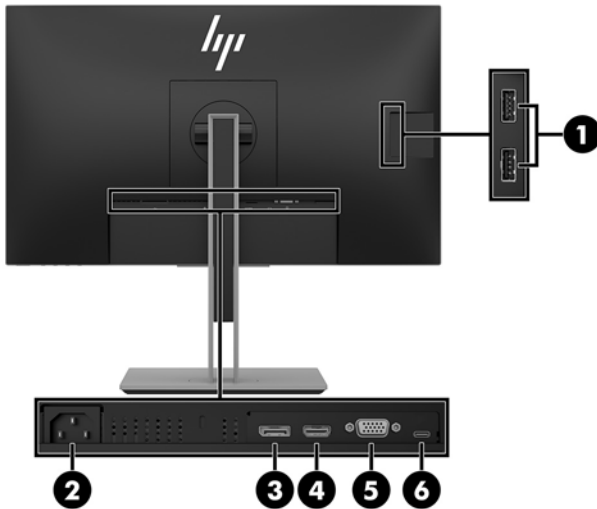
このモニターの特長は以下のとおりです。

- 2560×1440 以下の解像度をサポートする、27 インチ（対角長 68.5 cm）の表示画面領域。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です
- LED バックライト付きノングレアパネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度調整機能
- 横長から縦長モードへのモニター パネル回転機能
- 画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- モニター パネルを固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- DisplayPort および VGA ビデオ入力（ケーブル付属）
- HDMI（High-definition Multimedia Interface）ビデオ入力×1（ケーブルは別売）
- USB 3.0 ハブ（USB Type-C アップストリーム ポート（コンピューターに接続）×1、USB Type-A ダウンストリーム ポート（USB デバイスに接続）×2）
- モニターの USB ハブをコンピューターの USB ポートに接続するための USB ケーブルが付属
- プラグアンドプレイ機能（オペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ソフトウェア
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能

- モニター ドライバーおよび製品の説明書が収録された『Software & Documentation』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション）オプティカルディスクが一部の地域のモニターに付属
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

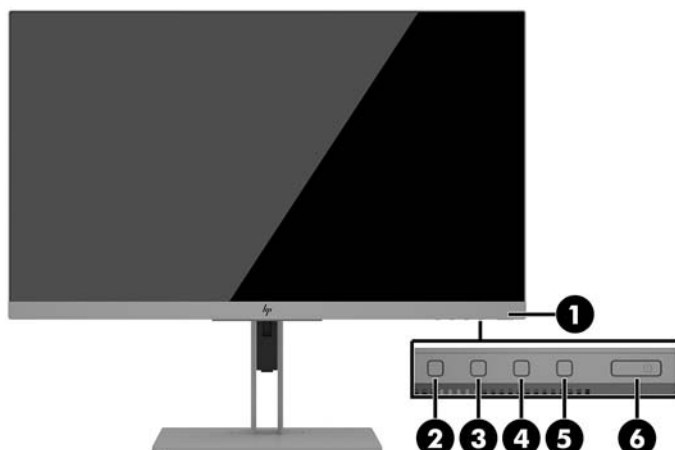
 **注記：**安全情報および規定に関する情報について詳しくは、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスクまたはドキュメントキットに収録されています。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

背面の各部




名称	機能
1 USB ポート	USB デバイスを接続します
2 電源コネクタ	電源コードを接続します
3 DisplayPort 入力端子	DisplayPort ケーブルを入力デバイスに接続します
4 HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
5 VGA コネクタ	VGA ケーブルを入力デバイスに接続します
6 USB Type-C ポート	入力デバイスの USB CM-CM または CM-AM ケーブルをモニターに接続します

フロントパネルの各部




名称	機能
1 電源ランプ	点灯：モニターがオンになっています オレンジ色に点灯：操作しない状態が続いたため、モニターが省電力状態になっています オレンジ色で点滅：省電力設定により、モニターが省電力状態になっています。 29 ページの省電力機能 を参照してください
2 メニュー ボタン	ボタンを押すと、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます
3-5 機能ボタン	OSD メニューを操作するときに使用します。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの上に、操作に関するインジケータが表示されます 注記： OSD メニューの機能ボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。詳しくは、 18 ページの機能ボタンの割り当て を参照してください
6 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます

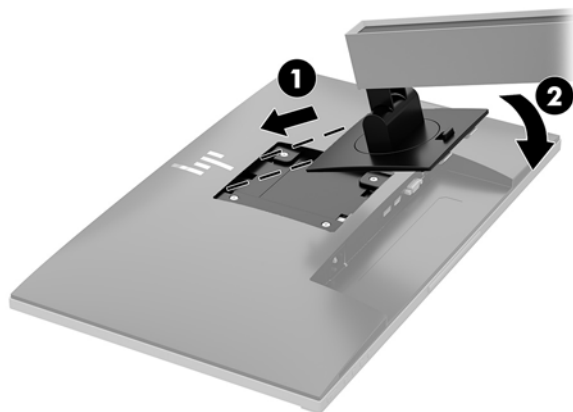
 **注記：** OSD メニューのシミュレーションを、HP のカスタマーセルフリペアプログラムのサービスメディアライブラリー (HP Customer Self Repair Services Media Library、<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト) から見ることもできます。お使いのモニターのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

モニターの設置


モニター スタンドの取り付け（一部のモデルのみ）

 **重要**：モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

1. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドのマウントプレート上部を、パネル背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます (1)。
3. スタンドのマウントプレート下部をくぼみに挿入し、カチッという音がするまで押し込みます (2)。
4. スタンドが所定の位置に固定されると、ラッチが飛び出します。




ケーブルの接続


 **注記**：モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをスタンド中央のケーブル配線穴に通しておきます。

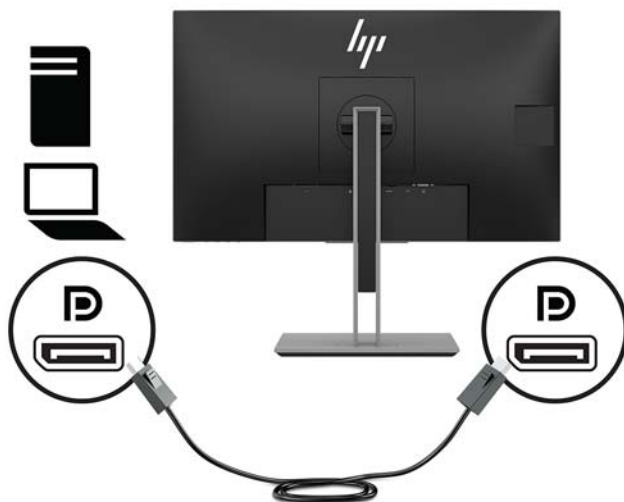


3. ビデオケーブルを接続します。

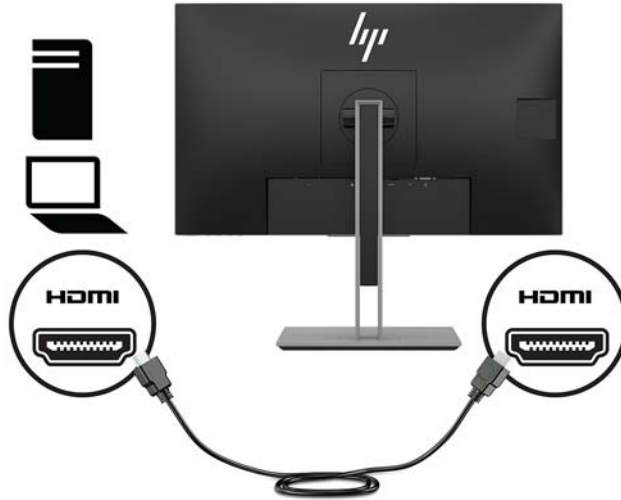
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、**メニュー** ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスし、**[入力コントロール]**を選択します。

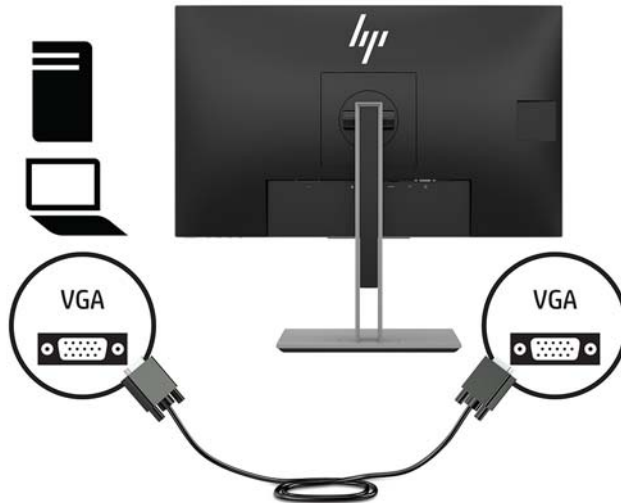
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort 出力端子に接続します。




- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。

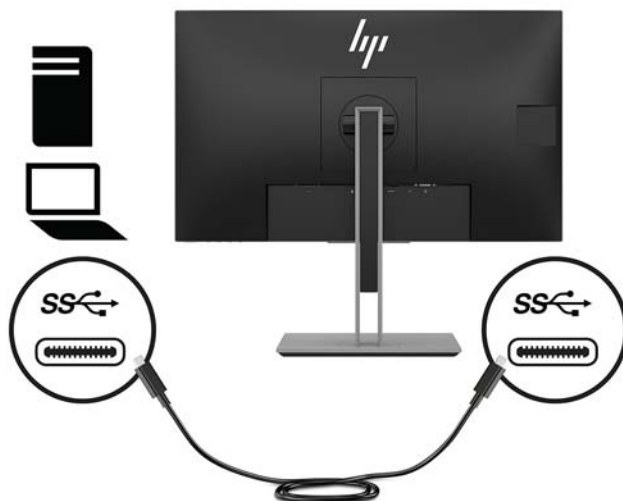


- VGA ケーブル（別売）の一方の端をモニターの背面の VGA コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの VGA コネクタに接続します。



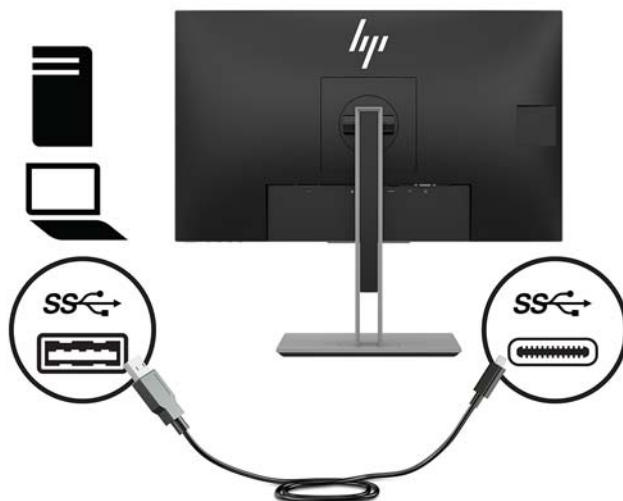
- USB CM-CM ケーブル（別売）を Type-C の USB ポートに接続します。Type-M コネクタを入力デバイスの USB ダウンストリームポートに接続します。

 **注記：** USB CM-CM ケーブルは、最大 15 W（5 V、3 A）の電源を供給します。

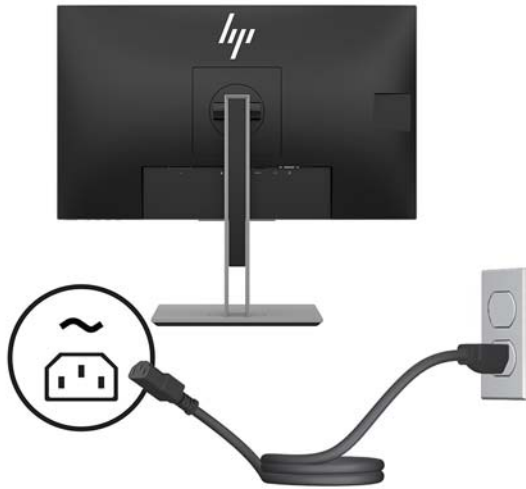


4. ケーブルをモニターの後面の USB アップストリームポートに接続します（ディスプレイの USB Type-A ポートに、5 ギガビット/秒の速度でデータを転送します）。

USB アップストリームケーブルの Type-C コネクタをモニターの後面の USB アップストリームポートに接続してから、ケーブルの Type-A コネクタを入力デバイスの USB ダウンストリームポートに接続します。



5. 電源コードの一方の端をモニターの背面の外部電源コネクタに接続して、もう一方の端を電源コンセントに接続します。



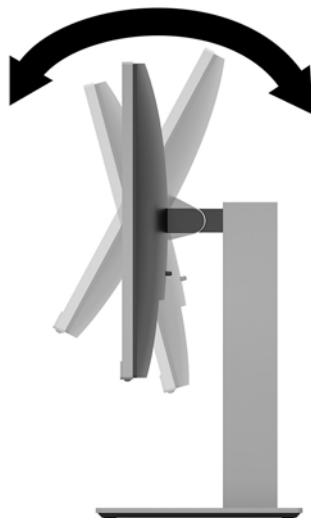
⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

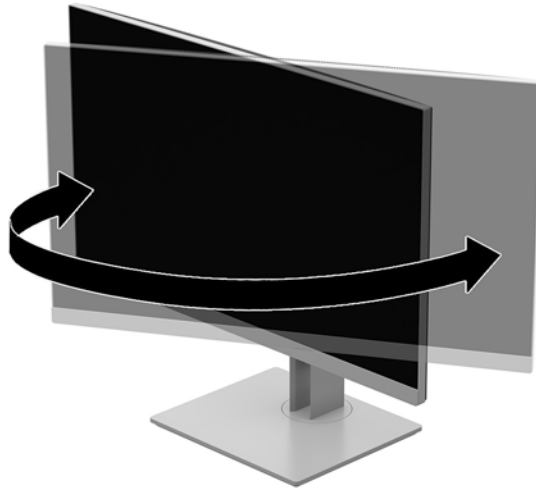
安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

モニターの調整（一部のモデルのみ）

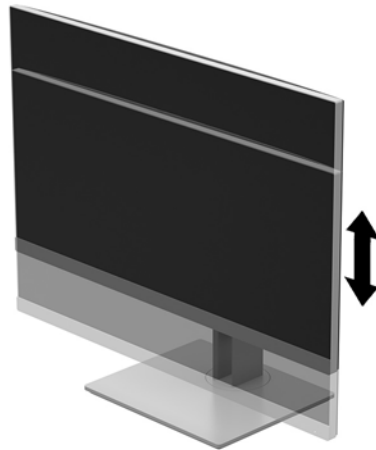
1. モニターパネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニターパネルを左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。

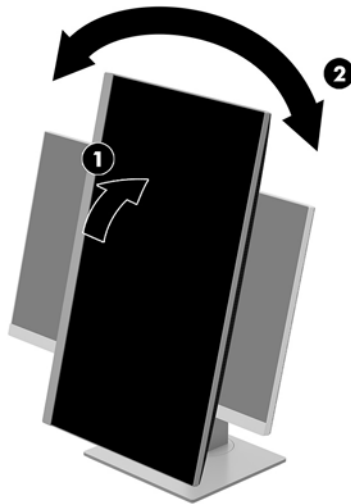


3. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。



4. 必要に応じて、モニターパネルの表示方向を横向きから縦向きに回転できます。
- モニターが最も高い位置になるように調整してから、モニターパネルが完全に後方に傾いた位置まで傾斜角度を調整します (1)。
 - モニターパネルを時計回り (または反時計回り) に 90°回転させて、横向きから縦向きに変更します (2)。

⚠ 注意 : 回転させるとき、モニターが最も高い位置で完全に後ろに傾斜していないと、モニターパネルの右下隅がスタンドに接触するため、モニターが損傷するおそれがあります。



📄 注記 : 情報を縦向きに表示するには、『Software & Documentation』(ソフトウェアおよびドキュメンテーション) オプティカルディスクに収録されている [HP Display Assistant] ソフトウェアをインストールします。[HP Display Assistant] ソフトウェアは、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> からダウンロードできます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの配置も縦向きに変更できます。OSD メニューを回転するには、フロントパネルにある **メニュー** ボタンを押し、メニューから **[Image Control]** (イメージコントロール) → **[OSD Rotation]** (OSD 回転) の順に選択して、OSD メニューにアクセスします。

モニターの電源投入

1. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
2. モニター下部の電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。



⚠ 注意： モニターを使用しない状態が 12 時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面への「焼き付き」は、保証の対象外です。

📖 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

📖 注記： 電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。モニターのフロントパネルのメニューボタンを押して、[電力コントロール]→[電源ランプ]→[オフ]の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ、初期設定はオン)、現在のプリセット画面解像度、および推奨されるプリセット画面解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

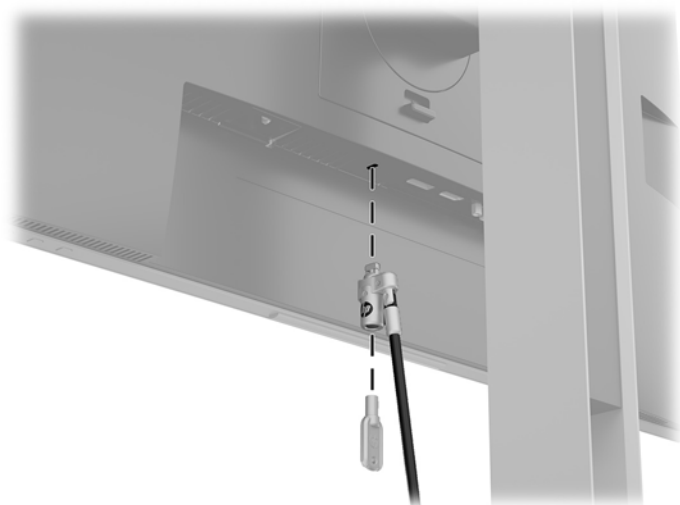
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

IPS モニター モデルは、超広視野角および高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術を使用して設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、動きのない固定された静止画像をスクリーンセーバーを使用しないで長時間表示するような用途には適していません。このような用途としては、たとえば、監視カメラ映像、ビデオゲーム、商品ロゴ、テンプレートなどを長時間表示する場合などがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

モニター画面への画像の焼き付きの原因となるような 1 日 24 時間の使用は、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きを防ぐため、モニターを使用していないときには常にモニターの電源を切るか、電源管理の設定を使用して、システムがアイドル状態のときにディスプレイをオフにするようにします（お使いのシステムでサポートされている場合）。


セキュリティ ロック ケーブルの取り付け


別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定できます。



モニターを取り付け


モニターパネルは、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：**この装置は、UL または CSA 準拠の壁への取り付け器具で支えられるように設計されています。

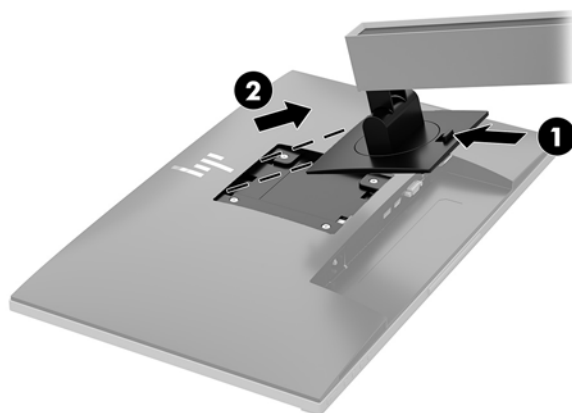
 **注意：**このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターパネルに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターパネルを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニターパネルの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

モニタースタンドの取り外し

モニターパネルからスタンドを取り外して、モニターパネルを壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

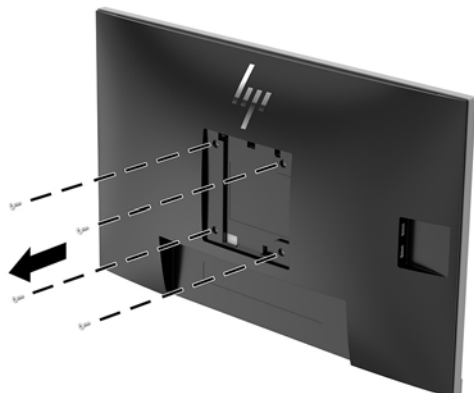
 **注意：**モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. モニター下部の中央近くにあるラッチ (1) を押し上げます。
4. スタンドの下部を上方向に回転させ、マウントプレートに隠れていたパネルのくぼみが見えるようにします (2)。
5. スタンドをスライドさせて、くぼみから取り外します。

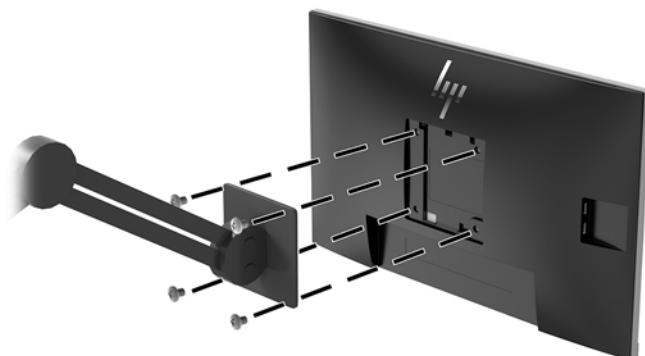


VESA 準拠のマウントキットの取り付け

1. モニターパネル背面にある VESA 基準の取り付け穴から 4 本のネジを取り外します。



2. モニターパネル背面にある VESA 基準の取り付け穴から取り外した 4 本のネジを使って、マウントプレートを所定の壁またはスイングアームに取り付けます。



2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

オプティカルディスク（モニターに付属している場合）には、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録されています。オプティカルドライブがない場合は、<http://www.hp.com/jp/support/> からファイルをダウンロードできます。

- INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- [HP Display Assistant]ソフトウェア


情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Microsoft® Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基いて記述されています。

INF および ICM ファイルのインストール

INF および ICM ファイルを更新する必要がある場合は、次のどちらかの方法を使用してファイルをインストールしてください。

オプティカルディスクからのインストール（一部の地域で利用可能）

INF および ICM ファイルをオプティカルディスクからコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクをコンピューターのオプティカルディスクドライブに挿入します。オプティカルディスクのメニューが表示されます。
2. **[HP Monitor Software Information]**（HP モニターソフトウェア情報）ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニタードライバーソフトウェアをインストールする）を選択します。

4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。

Web サイトからのダウンロード

オプティカルドライブを搭載したコンピューターまたは入力デバイスがない場合は、以下の操作を行って、最新バージョンの INF および ICM ファイルを HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードします。

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. **[ソフトウェア/ドライバー]**を選択します。
3. 画面の説明に沿ってお使いのモニターを選択し、ソフトウェアをダウンロードします。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのパネルにあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

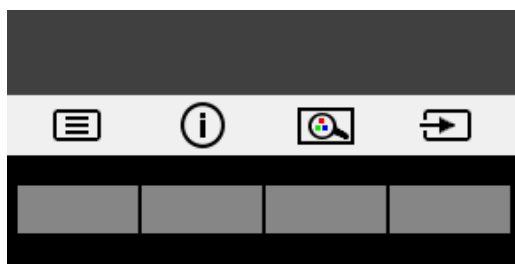
1. モニターの電源が入っていない場合は、**電源**ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、パネルにある 3 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にします。次に、**メニュー**ボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. 3 つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーンボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メインメニューのメニュー項目を示します。

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します
マネージメント	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

機能ボタンの割り当て

フロントパネルにある3つの機能ボタンのどれかを押し、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。




ボタン	機能
1 メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが表示されます
2 情報/自動調整 (機能ボタン3: 割り当て可能)	デジタル入力の場合は、[情報]メニューが表示されます VGA 入力の場合は、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます
3 表示モード (機能ボタン2: 割り当て可能)	見やすくなるようにモニターのライトを調整します
4 次のアクティブな入力 (機能ボタン1: 割り当て可能)	モニターの入力ソースが次のアクティブな入力に切り替わります

機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを割り当てるには、以下の操作を行います。

1. フロントパネルにある3つのボタンのどれかを押し、ボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. OSD メニューで、**[メニューコントロール]**→**[ボタンの割り当て]**の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

 **注記:** 割り当てることができる機能ボタンは3つのみです。**メニュー** ボタンおよび**電源** ボタンは割り当てなおすことができません。

自動スリープモードの使用

このモニターは、**[自動スリープモード]**を設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定では有効)、ホスト PC から低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態 (スリープモード) になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。ホスト PC からアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。フロントパネルにある 3 つの機能ボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示します。

1. OSD メニューで、**【電力コントロール】**を選択します。
2. **【電源モード】**を選択します。
3. **【パフォーマンス】**→**【Save and Return】**（保存して戻る）の順に選択して、**【電力コントロール】**メニューに戻ります。
4. **【電力コントロール】**を選択します。
5. **【自動スリープモード】**を選択します。
6. **【オフ】**を選択します。

低ブルーライトモードの調整

ディスプレイのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。HP モニターにはブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減するための設定が用意されています。見やすくなるようにモニターのライトを調整するには、以下の操作を行います。

ディスプレイからのブルーライトの発光を調整するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで、**【カラーコントロール】**を選択します。
2. **【表示モード】**を選択します。
3. 目的の設定を選択します。
 - **【低ブルーライト】**: TUV 認証済み。ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
 - **【夜間】**: ブルーライトの発光が最も少なくなるように調整して、睡眠への影響を軽減します
 - **【読書】**: ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
4. **【Save and Return】**（保存して戻る）を選択して設定を保存し、**【表示モード】**メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**【キャンセル】**を選択します。
5. メインメニューから**【Exit】**（終了）を選択します。

△ 警告！ 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から**【日本語】**を選択することで表示できます。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されないか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	フロントパネルの 電源 ボタンを押します 注記 ：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 6 ページのケーブルの接続 を参照してください
	システムがスリープモードになっています	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、スリープモードを終了します
ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力コントロール] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します	
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度が低すぎる	OSD メニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
[Check Video Cable] と画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range] というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	サポートされている値に設定値を変更します。詳しくは、 28 ページのプリセットディスプレイ解像度 を参照してください
モニターの電源は切れるが、スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	OSD メニューを開き、 [電力コントロール] → [自動スリープモード] の順に選択して、自動スリープを [オン] に設定します
[OSD Lockout] と画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	フロントパネルの メニュー ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD メニューのロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの 電源 ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源 ボタンを 10 秒程度押し続けて、 電源 ボタンのロックを解除します

自動調整機能の使用（アナログ入力）

初めてモニターを設定する場合や、コンピューターを工場出荷状態にリセットしたり、モニターの解像度を変更したりする場合は、自動調整機能によって自動的に画面の最適化が行われます。

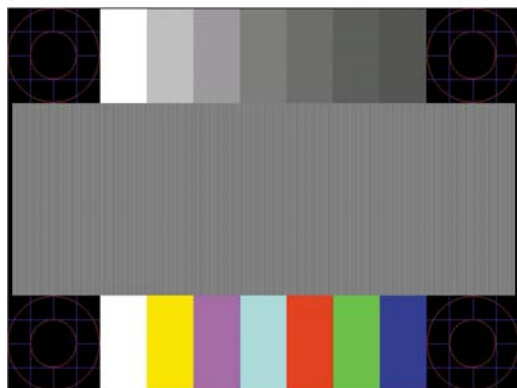
オンスクリーンディスプレイ（OSD）の**[Auto-Adjustment]**（自動調整）メニュー、および付属のオプティカルディスクに収録されている自動調整用パターンソフトウェアユーティリティ（一部のモデルのみ）を使用して、VGA（アナログ）入力対応の画面の画質を最適化することもできます。


お使いのモニターがVGA入りに未対応の場合は、この操作を行わないでください。お使いのモニターがVGA（アナログ）入力対応の場合は、この操作を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。


1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. **メニュー** ボタンを押し、OSD メニューから**[Image Control]**（イメージコントロール）→**[Auto-Adjustment]**（自動調整）の順に選択します。期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。
3. **[Open Auto-Adjustment Utility]**（自動調整ユーティリティを開く）を選択します。このユーティリティは、オプティカルディスク（モニターに付属している場合）に収録されています。セットアップのためのテストパターンが表示されます。
4. **Esc** キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テストパターンを終了します。



 **注記**：自動調整用テストパターンユーティリティは、<http://www.hp.com/jp/support/> からダウンロードできます。


画質の最適化（アナログ入力）

オンスクリーンディスプレイ（OSD）のメニューの[Clock]（クロック）および[Phase]（フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。

 **注記：** [Clock]および[Phase]はアナログ（VGA）入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- **[Clock]：** 画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Phase]：** 画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

 **注記：** これらの調整を行う場合は、オプティカルディスクに収録されている自動調整用のソフトウェアユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]および[Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューの[Factory Reset]（出荷時設定にリセット）から[Yes]（はい）を選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

1. モニターのフロントパネルの**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示し、**[Image Control]**（イメージコントロール）を選択します。
2. **[Clock and Phase]**（クロックとフェーズ）を選択します。
3. モニターのフロントパネルにある、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されている機能ボタンを使用して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。



4. クロックを調整しても画面にかすみ、ちらつき、線などが表示される場合は、続いてフェーズを調整します。

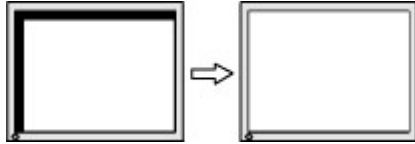
ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（フェーズ）。

1. モニターのフロントパネルの**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示し、**[Image Control]**を選択します。
2. **[Clock and Phase]**を選択します。
3. モニターのフロントパネルにある、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されている機能ボタンを押して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックスコントローラーカードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。



画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. モニターのフロントパネルの**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示し、**[Image Position]**（画面の位置）を選択します。
2. モニターのフロントパネルにある、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されている機能ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。**[Horizontal Position]**（水平表示位置）では画像を左右に移動し、**[Vertical Position]**（垂直表示位置）では画像を上下に移動します。




ボタンのロックアウト

電源ボタンまたは**メニュー** ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューが開いていない場合にのみ使用できます。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

モニターの使用について詳しくは、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして**[製品から探す]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの**[お問い合わせ一覧]**から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

 **注記**：モニターの説明書、リファレンスガイド、およびドライバーは、<http://www.hp.com/jp/support/> から入手できます。


お問い合わせになる前に

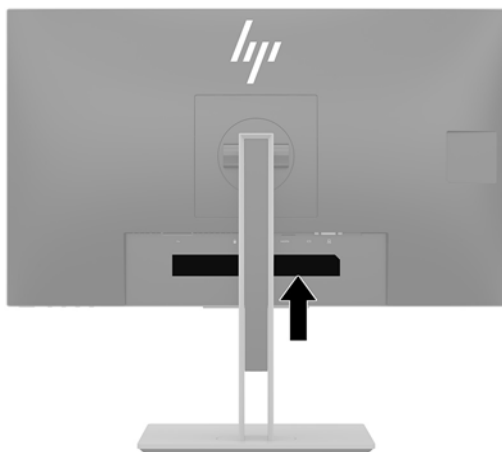
トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願います）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニターパネルの背面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

 **注記：** 場合によっては、ラベルを読むためにモニターパネルをある程度回転させる必要があります。




4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** モニター画面への「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。


 **重要：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

重要： ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります

この製品の最新の仕様またはその他の仕様については、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル

ディスプレイ、ワイドスクリーン	27 インチ（68.5 cm）
種類	IPS
表示可能画像サイズ	68.5 cm / 27 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	7.4 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ（最も高い位置のとき）	52.3 cm
高さ（最も低い位置のとき）	37.3 cm
奥行き	21.4 cm
幅	61.3 cm
傾斜角度	-5 ~ 22°
回転角度	45 ± 2°
最大グラフィックス解像度	2560×1440（デジタル入力のみ。USB Type-C、DisplayPort、および HDMI）
最適グラフィックス解像度	2560×1440（デジタル入力のみ。USB Type-C、DisplayPort、および HDMI）
環境条件 動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
入力端子	HDMI 入力端子×1、DisplayPort×1、VGA コネクタ×1、USB Type-C ポート×1

プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのディスプレイで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

27 インチ（対角長 68.5 cm）モデル

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.940
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	48.363	60.004
5	1280×720	45.00	60.000
6	1280×800	49.702	59.810
7	1280×1024	63.981	60.020
8	1440×900	55.935	59.887
9	1600×900	60.000	60.000
10	1680×1050	65.290	59.954
11	1920×1080	67.500	60.000
12	1920×1200	74.038	59.950
13	2560×1440	88.787	59.951

* 2560×1440 は、デジタル入力（USB Type-C、DisplayPort、および HDMI）でのみサポートされます。

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p	720×480	31.469	60
2	576p	720×576	31.25	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60
5	1080p60	1920×1080	67.5	60
6	1080p50	1920×1080	56.25	50

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。


- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイメニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は0.5Wです。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、省電力機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。


モニターの省電力ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの省電力ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせるようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。